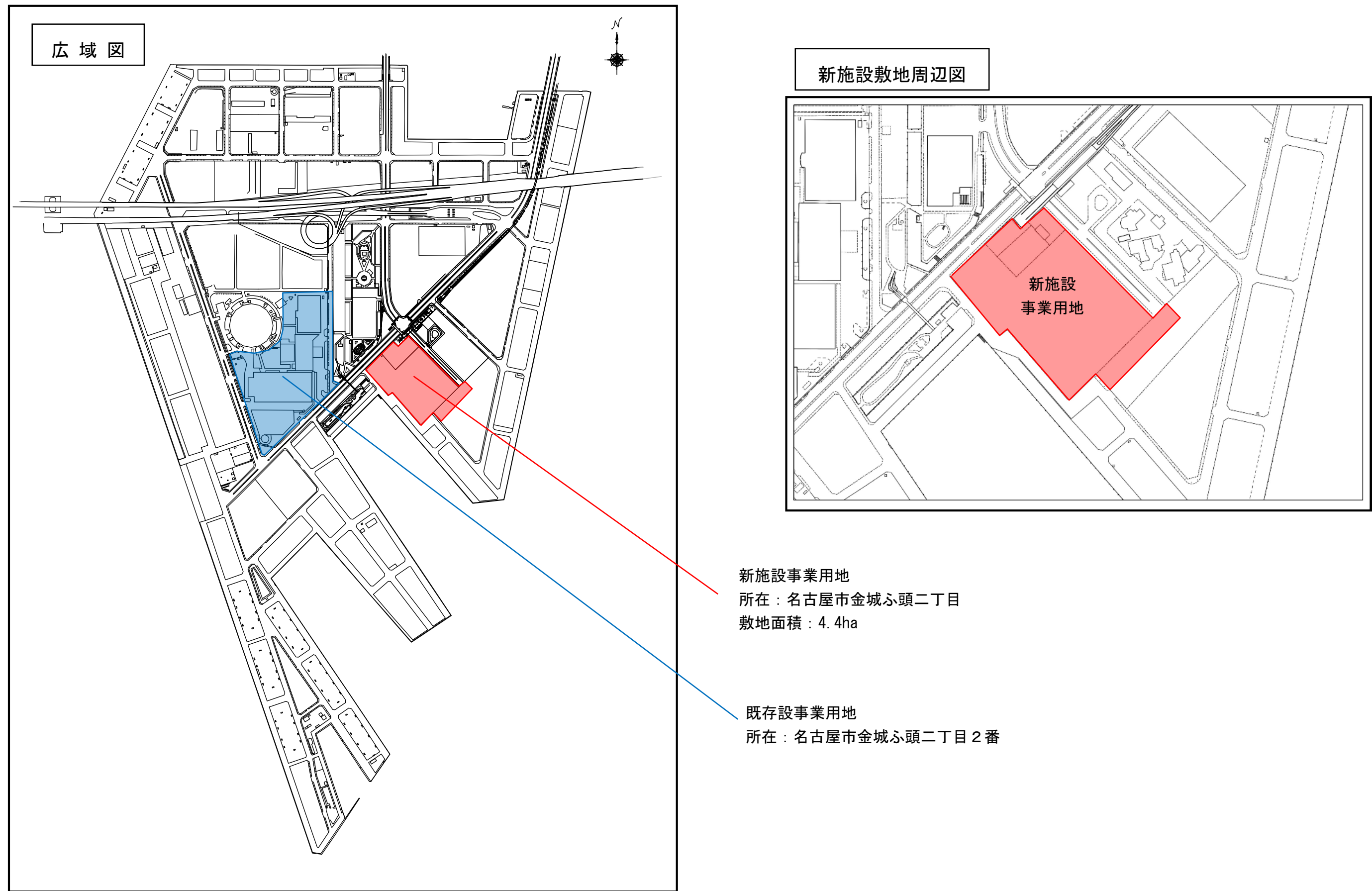
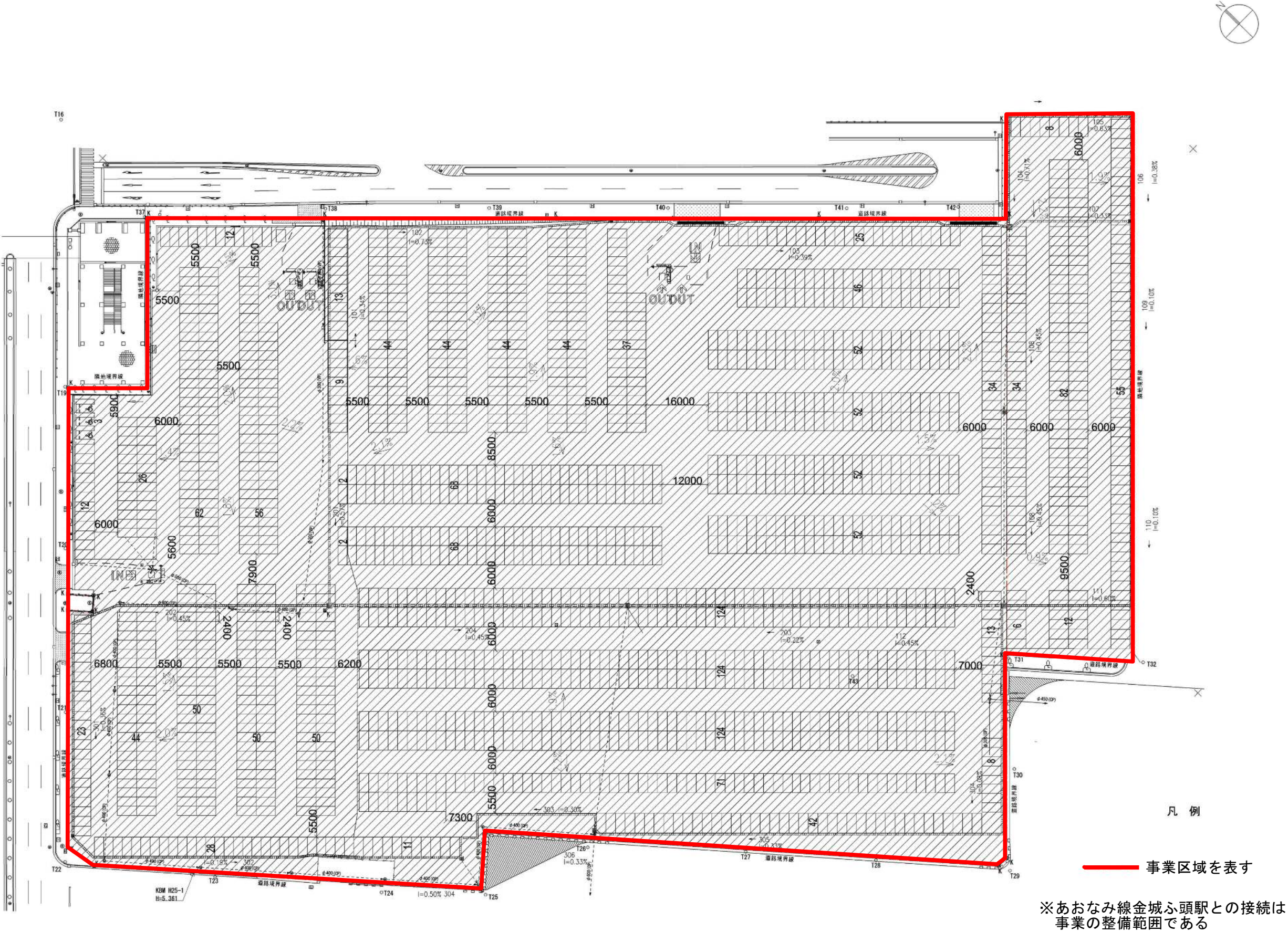






資料3 現第1展示館解体・撤去工事関連図面

①現第1展示館関連図面一覧

現第1展示館関連図面の一覧を以下に掲載する。

下記資料については、名古屋市観光文化交流局観光交流部MICE推進室にて、希望者に資料の貸し出しを行うものとする。希望者は入札説明書第9の4に定める問合せ先へ連絡を行うこと。

なお、網掛けの図面に係る部分については、解体・撤去費用に計上しないこと。

管理棟(B棟)はすでに解体済み。

○昭和46年度 国際展示場(仮称)新築工事

ページ	No.	名称
1	意匠図1	表紙
2	意匠図2	図面目録
3	意匠図3	案内図附近見取図
4	意匠図4	測量図
5	意匠図5	配置図
6	意匠図6	仕上表
7	意匠図7	建具表2の1
8	意匠図8	建具表2の2
9	意匠図9	面積求積図
10	意匠図10	共通標準詳細図2の1
11	意匠図11	共通標準詳細図2の2
12	意匠図12	展示場(A棟)平面図
13	意匠図13	展示場(A棟)屋根伏平面図
14	意匠図14	A棟、立面断面図
15	意匠図15	A棟、天井伏図
16	意匠図16	A棟、矩計図
17	意匠図17	A棟、雑詳細図3の1
18	意匠図18	A棟、雑詳細図3の2
19	意匠図19	A棟、雑詳細図3の3
20	意匠図20	A棟、天井部分詳細図
21	意匠図21	展示場(A棟)床ピット詳細図2の1
22	意匠図22	展示場(A棟)床ピット詳細図2の2
23	意匠図23	管理棟(B棟)平面図
24	意匠図24	管理棟(B棟)立面断面図
25	意匠図25	管理棟(B棟)天井伏図
26	意匠図26	管理棟(B棟)壁仕上区分図
27	意匠図27	管理棟(B棟)矩計図2の1
28	意匠図28	管理棟(B棟)矩計図2の2
29	意匠図29	管理棟(B棟)詳細図2の1
30	意匠図30	管理棟(B棟)詳細図2の2
31	意匠図31	管理棟(B棟)雑詳細図3の1
32	意匠図32	管理棟(B棟)雑詳細図3の2
33	意匠図33	管理棟(B棟)雑詳細図3の3
34	意匠図34	外構工事3の1
35	意匠図35	外構工事3の2
36	意匠図36	外構工事3の3
37	構造図1	一般要項、土質調査表
38	構造図2	配筋要領図
39	構造図3	A棟、杭・基礎伏図・梁伏図
40	構造図4	A棟、屋根伏図、軸組図
41	構造図5	A棟、基礎、基礎梁断面表、床スラブ配筋表
42	構造図6	A棟、柱断面表及び詳細図
43	構造図7	A棟、球面トラス断面表(その1)
44	構造図8	A棟、球面トラス断面表(その2)
45	構造図9	A棟、鉄骨詳細図(その1)
46	構造図10	A棟、鉄骨詳細図(その2)
47	構造図11	A棟、鉄骨詳細図(その3)
48	構造図12	A棟、一般ユニット、変電室、一般図、詳細図

49	構造図13	B棟、床梁伏図、軸組図
50	構造図14	B棟、断面表、配筋表
51	構造図15	B棟、鉄骨継手部材表、鉄骨加工要領図
52	構造図16	B棟、杭、基礎、床梁伏図
53	地盤改良図1	地盤改良工事・サンドドレイン詳細図
54	地盤改良図2	地盤改良工事・載荷盛土工ウエルポイント詳細図
55	地盤改良図3	地盤改良工事・観測計器設置詳細図

※B棟は既存建物無し

○昭和47年度 国際展示場(仮称)給水衛生空調工事

ページ	No.	名称
1	1	表紙・図面目録
2	2	特記仕様書
3	3	系統図・機器表・器具表
4	4	案内図・附近見取図・凡例
5	5	配置図
6	6	展示場平面図
7	7	展示場詳細図 2-1
8	8	展示場詳細図 2-2
9	9	消火設備器具詳細図(放水銃)
10	10	消火設備器具詳細図(泡消火栓)
11	11	管理棟1階平面図
12	12	管理棟2階平面図
13	13	管理棟 塔屋屋階平面図
14	14	管理棟詳細図
15	15	管理棟1階厨房平面図
16	16	管理棟2階厨房平面図
17	17	厨房器具詳細図(1階)5-1
18	18	厨房器具詳細図(1階)5-2
19	19	厨房器具詳細図(1階)5-3
20	20	厨房器具詳細図(2階)5-4
21	21	厨房器具詳細図(2階)5-5
22	22	水槽詳細図
23	23	排水勾配図
24	24	排水桝詳細図、展示場消火設備系統図

○昭和60年度 国際展示場展示館給水管増設工事

ページ	No.	名称
1	1	特記仕様書、案内図、配置図
2	2	平面図

○平成03年度 国際展示場1号館吹付け石綿改修工事

ページ	No.	名称
1	1	吹付け石綿改修工事共通仕様書
2	1	工事概要、案内図、配置図
3	2	平面図
4	3	立面図、断面図、天井伏図
5	4	消火ポンプ室、変電、トランス室、鉄骨詳細図

○平成03年度 国際展示場1号館増築空調・衛生工事

ページ	No.	名称
1	1	機械設備工事特記仕様書(1)
2	2	機械設備工事特記仕様書(2)
3	3	附近見取図・配置図・凡例
4	4	1号館1階平面図
5	5	各室平面詳細図・機器一覧表
6	6	1号館既設1階平面図
7	7	自動制御 計装図・平面図

○平成04年度 国際展示場1号館給水管改修工事

ページ	No.	名称
1	1	特記仕様書、案内図、配置図、平面図

○平成04年度 国際展示場1号館増築その他工事

ページ	No.	名称
1	0-0	図面目録
2	0-1	特記仕様書(1)
3	0-2	特記仕様書(2)
4	0-3	工事区分表(1)
5	0-4	工事区分表(2)
6	1	概要書・外部仕上表・内部仕上表・材料表・求積図
7	2	附近見取図、配置図
8	3	増築平面図(1)
9	4	増築平面図(2)
10	5	現状平面図(1)
11	6	主催者事務室・管理事務室・倉庫(1)(2)平面図、立面図、断面図、展開図
12	7	休憩室 平面図、立面図、断面図、展開図、矩計図、部分詳細図
13	8	建具表(1)
14	9	建具表(2)
15	10	2号館ブラインド設置図
16	構造図S-1	構造図(1)
17	構造図S-2	構造図(2)
18	構造図S-3	配筋基準図(1)
19	構造図S-4	配筋基準図(2)
20	構造図S-5	配筋基準図(3)

○平成05年度 国際展示場1号館身障者用便所増築その他工事

ページ	No.	名称
1	0-0	図面目録
2	0-1	工事概要、工事区分表
3	0-2	特記仕様書(1)
4	0-3	特記仕様書(2)
5	1	概要書・外部仕上表・内部仕上表・材料表・求積図
6	2	附近見取図、配置図
7	3	身障者用便所平面図、立面図、断面図、展開図、矩計図、部分詳細図
8	4	部分詳細図、改修建具表
9	5	建具表
10	6	2号館配線ピット蓋改修図
11	構造図S-1	構造図
12	構造図S-2	鉄骨基準図(1)

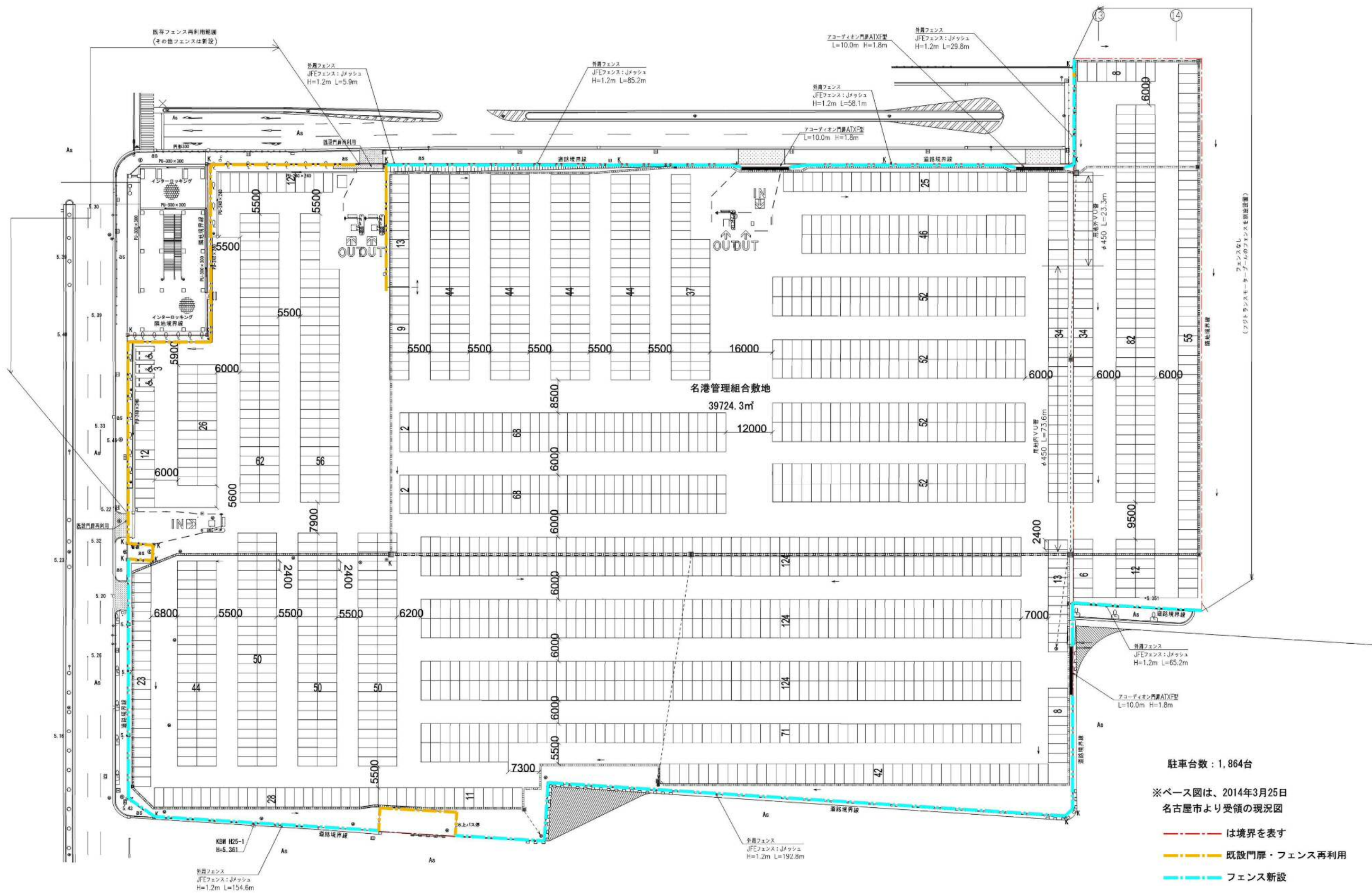
②現第1展示館のアスベスト情報
下記情報は参考程度とし、関連図面を確認すること。（底部分詳細に底裏面吹付石綿の表記等があるため）
下記表にある、残アスベスト項目の未分析の箇所、及び図面上記載のある箇所については、アスベストが含有していることとし、処理費用を計上すること。

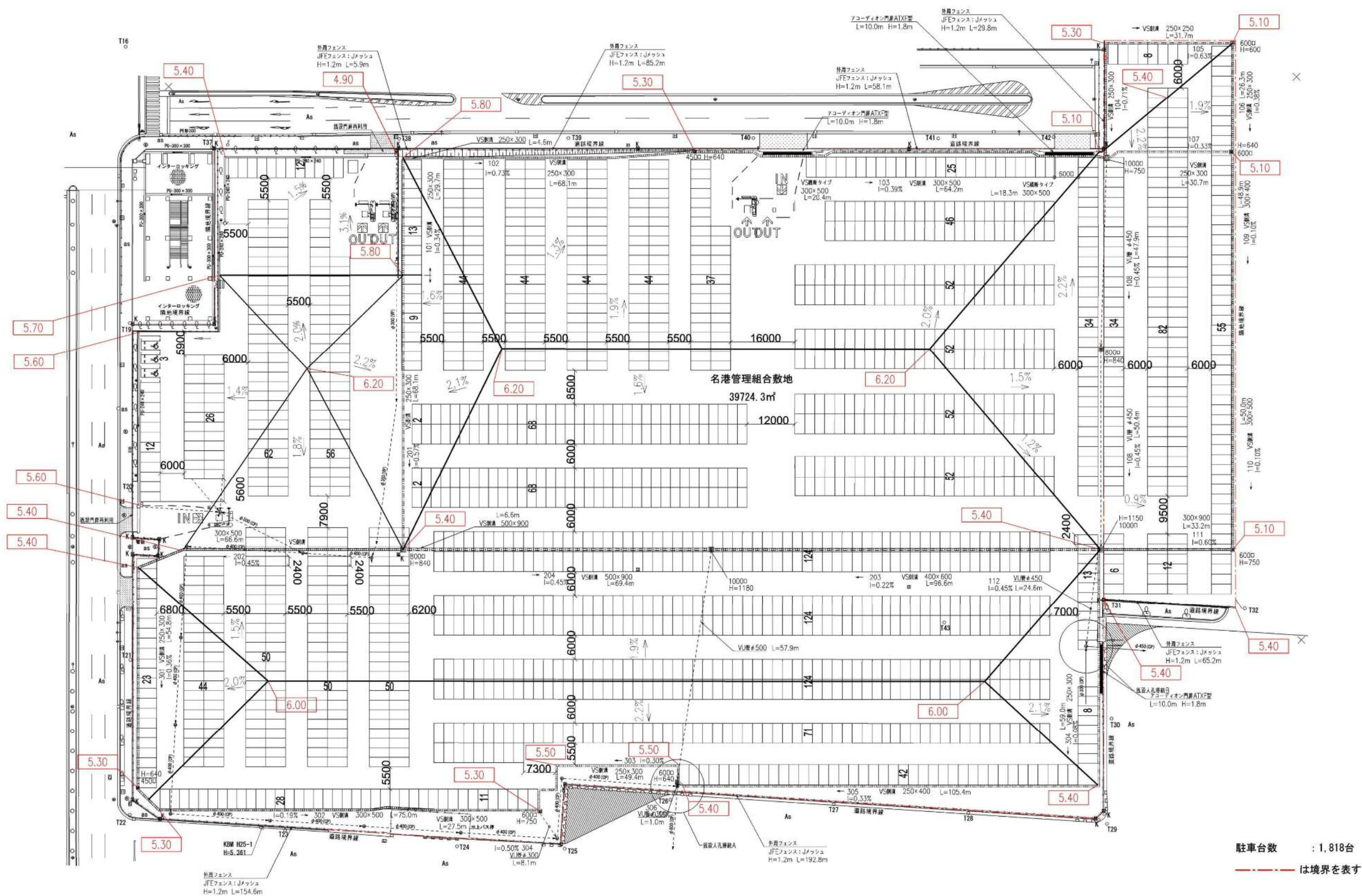
整理番号	残アスベスト	残吹付け面積(m ²)	棟名称	室名称	床面積(m ²)	吹付け箇所	施工年度	吹付け種別	吹付け材の種類	吹付け面積(m ²)	措置種別	措置年度	備考①	定性分析結果	含有率(%)	分析基準
1	有	150	第1展示館	A電気室	108	天井面及び梁	S48	吹付けアスベスト	吹付アスベスト	150	封込め	H03	アスベスト剥離個所あり	有	2.9	H8
2	有	150	第1展示館	B電気室	108	天井面及び梁	S48	吹付けアスベスト	吹付アスベスト	150	封込め	H03	アスベスト剥離個所あり	有	2.9	H8
3	有	150	第1展示館	C電気室	108	天井面及び梁	S48	吹付けアスベスト	吹付アスベスト	150	封込め	H03	アスベスト剥離個所あり	有	2.9	H8
4	有	150	第1展示館	D電気室	108	天井面及び梁	S48	吹付けアスベスト	吹付アスベスト	150	封込め	H03	アスベスト剥離個所あり	有	2.9	H8
5	有	41	第1展示館	消火ポンプ室	28	天井面及び梁	S48	吹付けアスベスト	吹付アスベスト	41	封込め	H03	アスベスト剥離個所あり	有	0.7	H8
6	未分析	38	第1展示館	東南ハッテリー室	31.62	天井裏梁・柱笠木裏打ち	S48	吹付けアスベスト	吹付アスベスト	38	囲込み	S48				
7	未分析	38	第1展示館	東男子便所	31.62	天井裏梁・柱笠木裏打ち	S48	吹付けアスベスト	吹付アスベスト	38	囲込み	S48				
8	未分析	38	第1展示館	東女子便所	31.62	天井裏梁・柱笠木裏打ち	S48	吹付けアスベスト	吹付アスベスト	38	囲込み	S48				
9	未分析	38	第1展示館	東倉庫	31.62	天井裏梁・柱笠木裏打ち	S48	吹付けアスベスト	吹付アスベスト	38	囲込み	S48	天井破損個所あり			
10	未分析	38	第1展示館	東出入口	31.62	天井裏梁・柱笠木裏打ち	S48	吹付けアスベスト	吹付アスベスト	38	囲込み	S48				
11	未分析	38	第1展示館	北東ハッテリー室	31.62	天井裏梁・柱笠木裏打ち	S48	吹付けアスベスト	吹付アスベスト	38	囲込み	S48	天井破損個所あり			
12	未分析	38	第1展示館	北男子便所	31.62	天井裏梁・柱笠木裏打ち	S48	吹付けアスベスト	吹付アスベスト	38	囲込み	S48				
13	未分析	38	第1展示館	北女子便所	31.62	天井裏梁・柱笠木裏打ち	S48	吹付けアスベスト	吹付アスベスト	38	囲込み	S48				
14	未分析	38	第1展示館	北出入口	31.62	天井裏梁・柱笠木裏打ち	S48	吹付けアスベスト	吹付アスベスト	38	囲込み	S48				
15	未分析	38	第1展示館	北西ハッテリー室	31.62	天井裏梁・柱笠木裏打ち	S48	吹付けアスベスト	吹付アスベスト	38	囲込み	S48				
16	未分析	38	第1展示館	西女子便所	31.62	天井裏梁・柱笠木裏打ち	S48	吹付けアスベスト	吹付アスベスト	38	囲込み	S48				
17	未分析	38	第1展示館	西男子便所	31.62	天井裏梁・柱笠木裏打ち	S48	吹付けアスベスト	吹付アスベスト	38	囲込み	S48				
18	未分析	38	第1展示館	西倉庫	31.62	天井裏梁・柱笠木裏打ち	S48	吹付けアスベスト	吹付アスベスト	38	囲込み	S48	アスベスト剥離個所あり			
19	未分析	38	第1展示館	西出入口	31.62	天井裏梁・柱笠木裏打ち	S48	吹付けアスベスト	吹付アスベスト	38	囲込み	S48				
20	未分析	38	第1展示館	西休憩室	31.62	天井裏梁・柱笠木裏打ち	S48	吹付けアスベスト	吹付アスベスト	38	囲込み	S48				
21	未分析	38	第1展示館	南西ハッテリー室	31.62	天井裏梁・柱笠木裏打ち	S48	吹付けアスベスト	吹付アスベスト	38	囲込み	S48	天井破損個所あり			
22	未分析	38	第1展示館	南女子便所	31.62	天井裏梁・柱笠木裏打ち	S48	吹付けアスベスト	吹付アスベスト	38	囲込み	S48				
23	未分析	38	第1展示館	南男子便所	31.62	天井裏梁・柱笠木裏打ち	S48	吹付けアスベスト	吹付アスベスト	38	囲込み	S48				
24	未分析	38	第1展示館	警備員室	31.62	天井裏梁・柱笠木裏打ち	S48	吹付けアスベスト	吹付アスベスト	38	囲込み	S48				
25	未分析	38	第1展示館	南出入口	31.62	天井裏梁・柱笠木裏打ち	S48	吹付けアスベスト	吹付アスベスト	38	囲込み	S48				
26	未分析	140	第1展示館	主催者事務室(2)	119.69	天井裏の鉄骨梁・柱	H04	吹付けロックウール	吹付ロックウール	140	囲込み	H04				
27	未分析	130	第1展示館	主催者事務室(1)	107.52	天井裏の鉄骨梁・柱	H04	吹付けロックウール	吹付ロックウール	130	囲込み	H04				
28	未分析	90	第1展示館	東休憩室	72.77	天井裏の鉄骨梁・柱	H04	吹付けロックウール	吹付ロックウール	90	囲込み	H04				
29	未分析	130	第1展示館	身障WC	107.52	天井裏の鉄骨梁・柱	H05	吹付けロックウール	吹付ロックウール	130	囲込み	H05				
30		130	第1展示館	倉庫(1)	107.52	天井面の梁・柱	H04	吹付けロックウール	吹付ロックウール	130				無		H8
31		130	第1展示館	倉庫(2)	107.52	天井面の梁	H04	吹付けロックウール	吹付ロックウール	130				無		H8

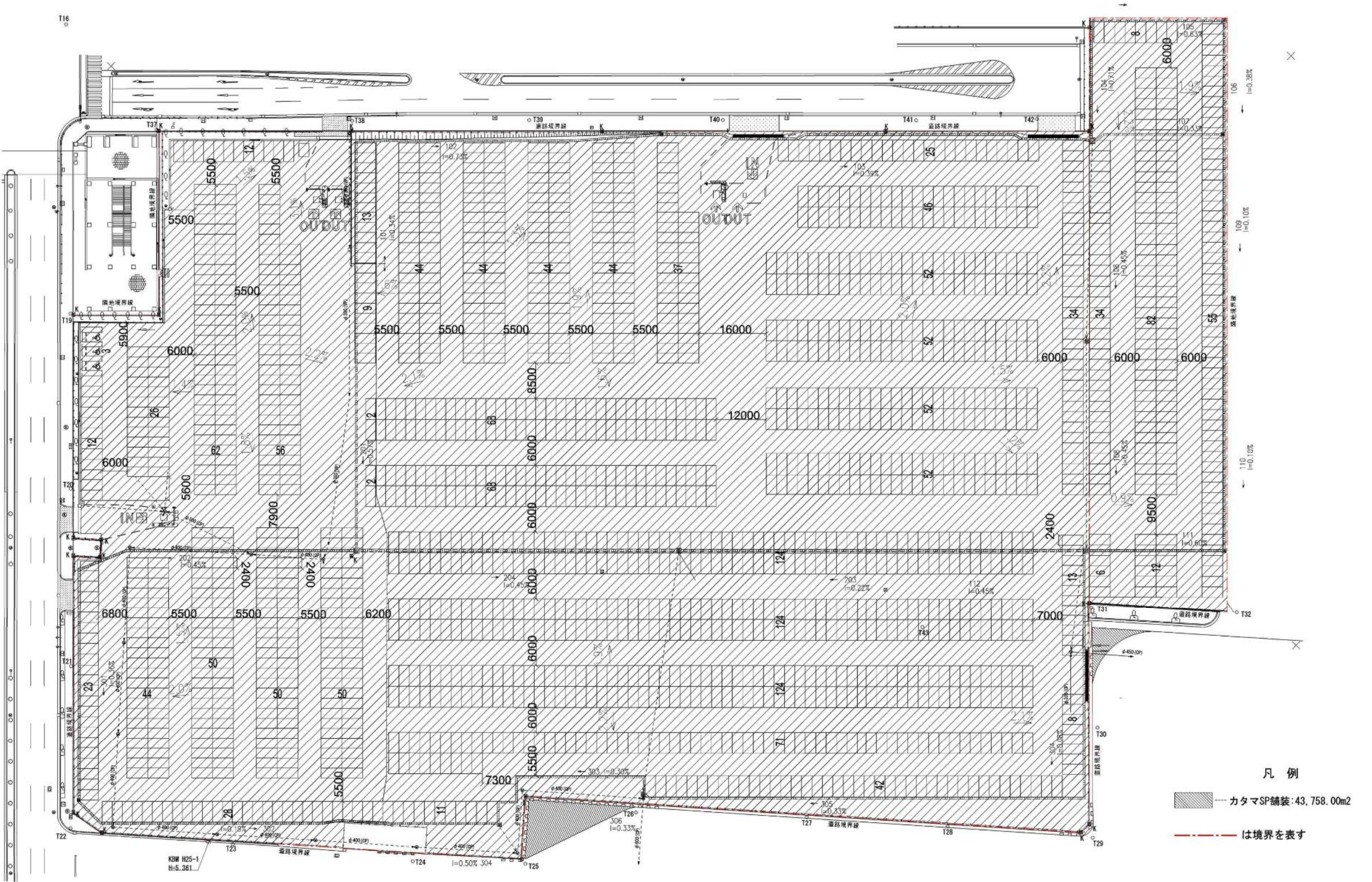
(出所)名古屋市住宅都市局保全情報システム

③現第1展示館のPCB情報
下記のPCB含有機器について、処理費用を計上すること。

室名称	台数
電気室	5
放水銃ポンプ室	



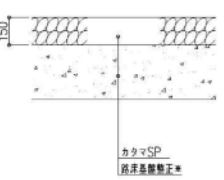




駐車場舗装

A1 1/20
A3 1/40

カタマSP舗装



カタマSP
路床基礎整正*

*カタマSPは、新日鐵住金（株）販売スラグ等品とする。
*カタマSPの品質規格は、修正CBR80以上、一軸圧縮強度 $\geq$ [14日]1.2Mpa以上とする。
*路床基礎整正部が盛土の場合CBR6程度の盛土材とする。
*路床基礎整正部が現状土の場合は、現地のCBR $\geq$ 6程度とする。
*路床基礎整正部のCBRが満足しない場合は、監督員との協議し決定する。
*名古屋市が輸入する盛土のCBR $\geq$ 6程度とする。なお、レベル調整は本工事とする。

VS側溝 250用

A1 1/30
A3 1/60

VS側溝 300用

A1 1/30
A3 1/60

VS側溝 400用

A1 1/30
A3 1/60

VS側溝 500用

A1 1/30
A3 1/60

VS側溝 横断250.300用

A1 1/30
A3 1/60

集水柵450口

A1 1/30
A3 1/60

集水柵600口

A1 1/40
A3 1/80

集水柵800口

A1 1/50
A3 1/100

集水柵1000口

A1 1/50
A3 1/100

VU管

A1 1/30
A3 1/60

Jフェンス H=1200

A1 1/30
A3 1/60

ゲート：アコーディオン門扉ATXF型（W=10m）

A1 1/50
A3 1/100

駐車区画詳細図

A1 1/100
A3 1/200

鉄ピン詳細図

A1 1/10
A3 1/20

照明ポール基礎（設籍工事）

A1 1/30
A3 1/60

人孔接詳細 A

A1 1/50
A3 1/100

人孔接詳細 B

A1 1/50
A3 1/100

駐車区画詳細図

A1 1/100
A3 1/200

鉄ピン詳細図

A1 1/10
A3 1/20

照明ポール基礎（設籍工事）

A1 1/30
A3 1/60

人孔接詳細 A

A1 1/50
A3 1/100

人孔接詳細 B

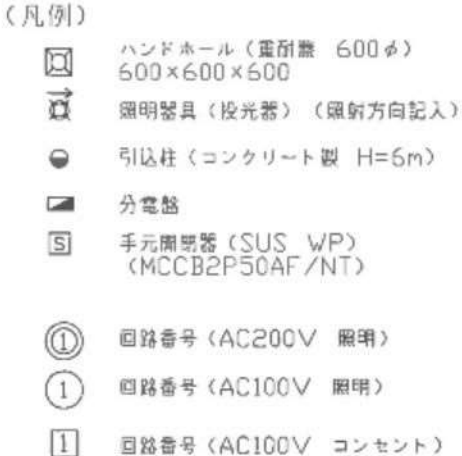
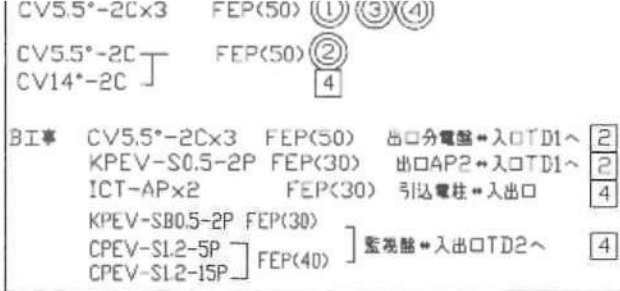
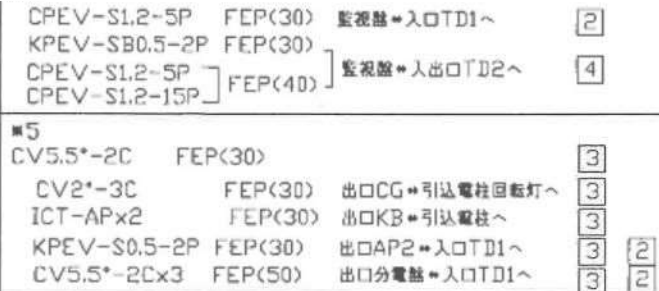
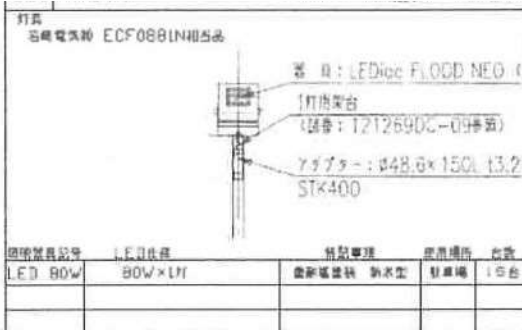
A1 1/50
A3 1/100

ゲート：アコーディオン門扉ATXF型（W=10m）

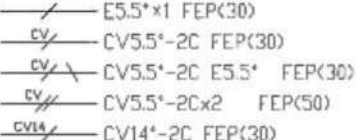
A1 1/50
A3 1/100

レール

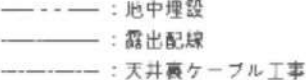
A1 1/50
A3 1/100



(注記) 1. 図中記入なき配管配線は下記による。



2. 配線布設方法は下記による。



3. 分電盤2次側から照明器具・コンセント周の電圧降下は

施工前に電圧降下計算書を作成し、
工事監理者の承認を得る事

1-1-
2020
0000
0000
3333
0000
0000
.....
UNCL

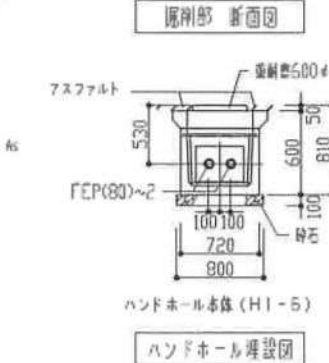
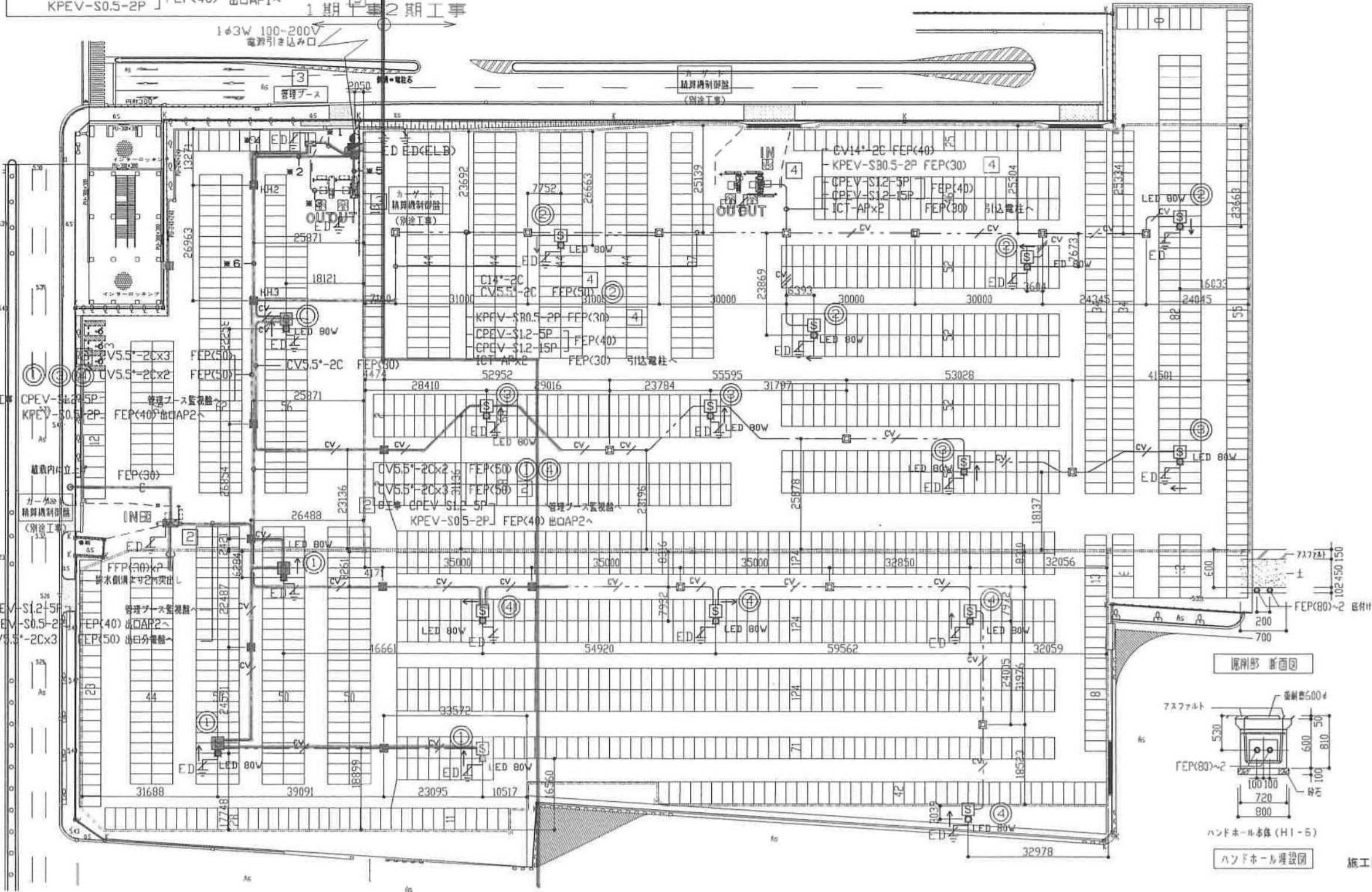
4. 照明器具調音ボールのコンクリート基礎は
本工事とする。

5. 引込柱の頂部～分電盤までの電力配管配線は
本工事にて行う事。
※引込柱の頂部での電力会社系統との配線接続は
電力会社工事。

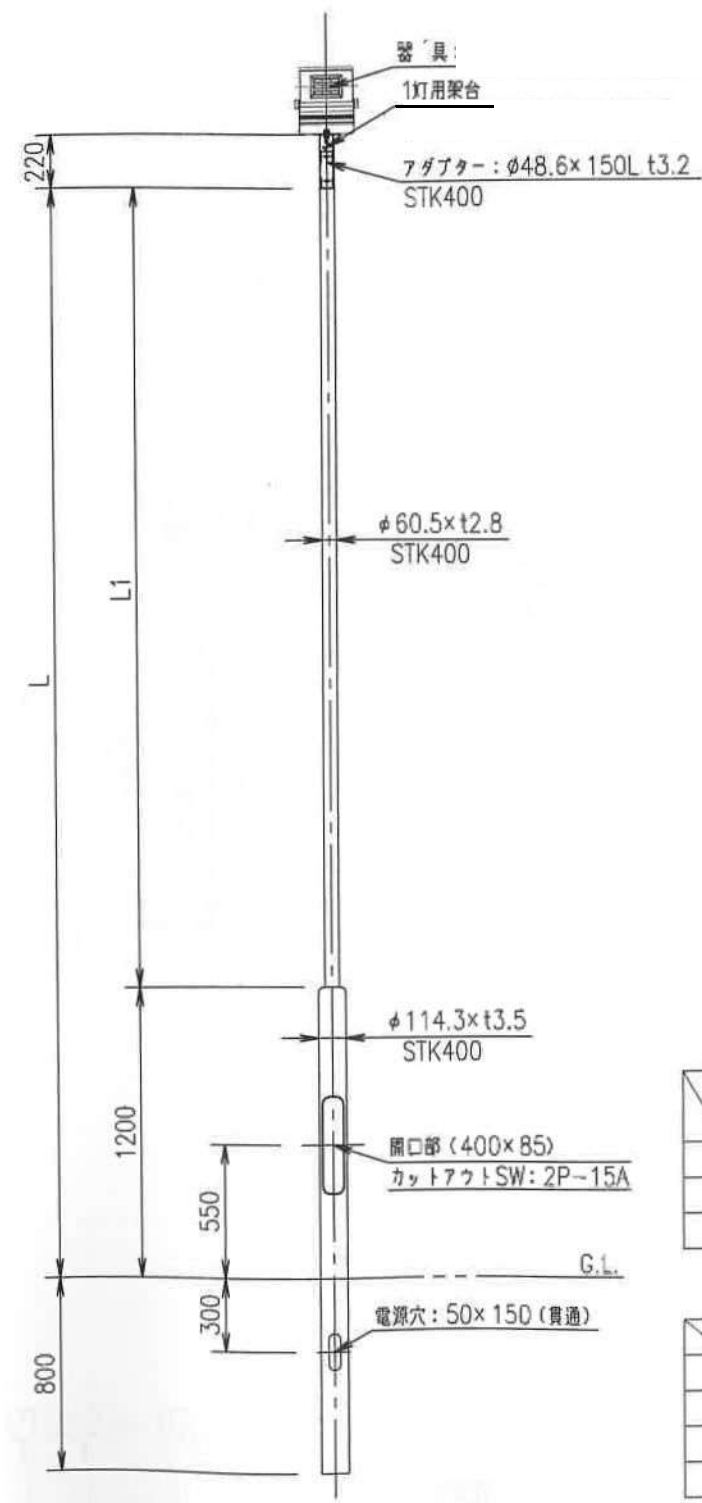
6. 今回工事にて設置する照明器具の照度は
照度10lx × 照室2lxを満足していない

7. 「カーゲート・積算機制御盤（別途工事）に
関連する電気工事は全て別途工事とする。

8. 照明器具調音ポール内には手元照明器具（ノットリップ型）を設置し、メンテナンス時に電圧を正常に放し、メンテナンス作業出来るようにする事。



外灯構造図



記号	地上高	各部寸法 (mm)	
		L	L1
40	4m	4000	2800
45	4.5m	4500	3300
50	5m	5000	3800

記号	仕上げ
無	錆止め塗装
G	溶融亜鉛めっき
S	錆止め後指定色塗装
GS	溶融亜鉛めっき後指定色塗装

参考数量内訳書

番号	名称	細目	数量	単位	備考
1	カタマSP舗装	t=15cm	42,519.7	m ²	
2	VS側溝工	250×300	453.6	m	
3	VS側溝工	250×400	105.4	m	
4	VS側溝工	300×400	48.9	m	
5	VS側溝工	300×500	275.7	m	
6	VS側溝工	300×900	33.2	m	
7	VS側溝工	400×600	95.3	m	
8	VS側溝工	500×900	75.9	m	
9	VS側溝工(横断)	300×500	38.7	m	
10	VU管	φ 300	9.1	m	
11	VU管	φ 450	122.9	m	
12	VU管	φ 500	59.0	m	
13	雨水樹	450口	2.0	箇所	T-25細目 グレーチング蓋共
14	雨水樹	600口	5.0	箇所	T-25細目 グレーチング蓋共
15	雨水樹	800口	1.0	箇所	T-25細目 グレーチング蓋共
16	雨水樹	1000口	3.0	箇所	T-25細目 グレーチング蓋共
17	人孔接続工	φ 300用 削孔共	2.0	箇所	
18	人孔接続工	φ 450用 削孔共	1.0	箇所	
19	人孔接続工	φ 500用 削孔共	1.0	箇所	
20	既設人孔高さ調整	φ 600	5.0	箇所	
21	外周フェンス	Jメッシュ h1.2m	431.0	m	
22	区画ロープ	φ 9mm	17,105	m	
23	アコーディオン門扉	H=1200 開口10m	3	箇所	ATXF 型
24	車止めブロック	L=600 2個／台	3	箇所	
25	外灯		16	基	
26	ハンドホール		3	基	
27	電灯盤		3	基	
28	FEP管	φ 30	1,742	m	
29	FEP管	φ 40	360	m	
30	FEP管	φ 50	529	m	

(注)この参考数量内訳書に記載されている数量は、参考数量であって、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上何等の拘束をするものではありません。